

みの EDO

発行：多治見市美濃焼タイル振興協議会
TEL 0572-43-2141
発信：多治見市・笠原町東京情報局
tilesea.ms@gmail.com

特集 第38回ジャパンホームショーの話題から



毎年趣向をこらす企画展示。今年はタイルキッチン。



セラミックタイルプラザの外観。



1日に3回行なわれたQ-CATの実演。



Q-CATの解説パネル。

2016年10月26日（水）～28日（金）、東京ビッグサイトにおいて、建材・部材、インテリア、住宅設備など、住まいに関する製品や情報に関する展示会「ジャパンホームショー／第2回店舗・施設展」が開催された（主催：一般社団法人日本能率協会）。

今年のテーマは「住宅、店舗・施設に関する建材・製品・設備・インテリアの相乗効果」。

昨年まで開催していた「Japan Home & Building Show」を今年は、「第38回ジャパンホームショー」「第2回店舗・施設展」として開催。両展を合わせた会場規模は昨年の約1.3倍。550社・団体（うち新規出展は159社）の最新の製品・サービスが紹介されたほか、約80の講演会・セミナーも行われた。

また、「建築+インテリア WEEK」として、「The 35th JAPANTEX 2016」（国内最大級のインテリア展示会。主催：日本インテリアファブリックス協会）「クリーン EXPO2016」「トイレ・バス・キッチン空間フェア 2016」が同時開催された。

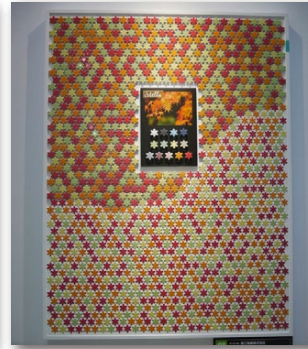
毎年出展する全国タイル工業組合の「セラミックタイルプラザ」を中心に、タイルメーカーの展示や、目をひいた展示を紹介する。



名古屋モザイク工業



杉浦製陶



長江陶業



LIXIL



各務製陶



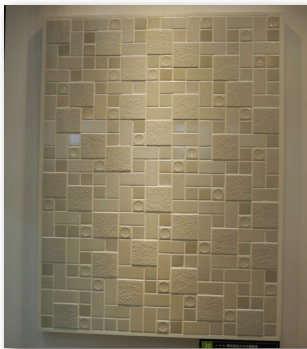
山周セラミック



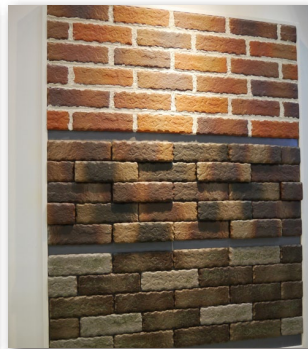
日東製陶所



セラメッセ



カネキ製陶所



久松製陶



美濃焼クールアイランドタイル振興会



KYタイル



丸万商会



TNコーポレーション



オザワモザイクワークス

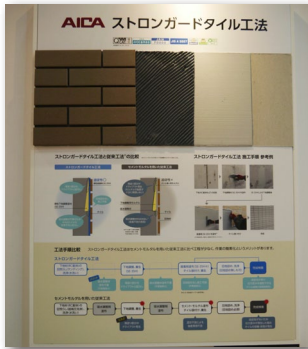


山延製陶所

セラミックタイルプラザ

全国タイル工業組合の出展ブース「CERAMIC TILE PLAZA」では、組合員 23 社が参加し、新作タイル等のパネルを展示。企画展示のタイルキッチンを中心にし、様々な色や形の新作タイルがブースを彩った。

昨年に引き続き、「外装タイルと有機系接着剤の組み合わせ品質認定制度：Q-CAT」の紹介に力を入れ、パネル展示とともに、1日に3回、職人による実演を実施した。



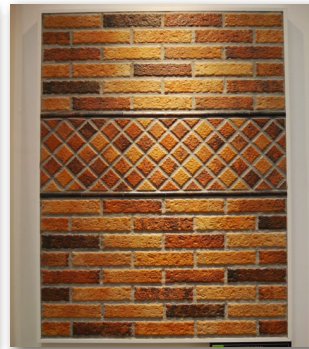
アイカ工業



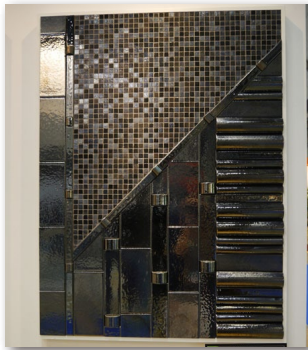
ニッタイ工業



玉川窯業



三協製陶



エクシズ



鈴製陶



モザイク工房

ほかのタイル関連展示

タイルメーカーでは、アイコットリョーフが独自のブースを設置。戸建住宅に最適な製品としてれんが調のタイルを展示した。

また、「JAPANTEX2016」の企画展示「akari image2016」では「光から選ぶ仕上げ材」をテーマとし、特殊な加工をしたガラスや左官材などと並び、タイルも紹介。

外国のメーカーでは中国ほか、イタリアからの出展があった。イタリアのメーカーではグレイを基調としシックなデザインの六角形の床タイル等が展示されていた。



アイコットリョーフの展示。



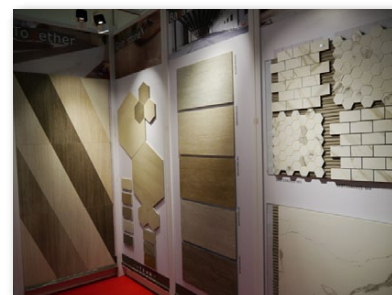
企画展示「akari image2016」にて。月のみちかけをイメージしたタイル「MOON」ほか（虔山）。



イタリアのタイルメーカー made+39の床タイル。



こちらもイタリアのメーカー。



中国のメーカー。

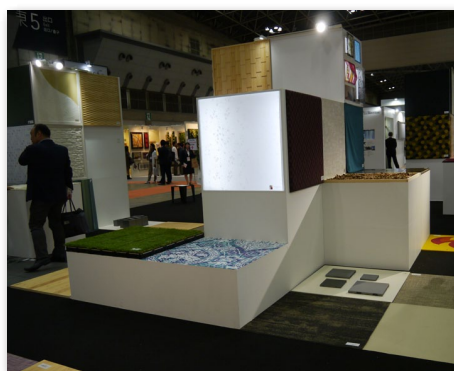
ほかに注目した展示—照明、テキスタイル

タイル関連以外に、目をひいた展示をいくつかご紹介する。

- 「わざわざ座」は、職人の手仕事を支え広げる、職人、デザイナー、工務店による集まり。そのプロジェクト「大工の手」展覧会として、全国各地の大工が地元の木材や布を使用して制作した38脚の椅子を展示。同じデザインの椅子が材料や作り手により様々な表情を見せる。
- 「店舗・施設展」の企画展示「素材の空間」は、出展されている建材製品のサンプルを集合してつくられ、製品の上を自由に歩いたり、触ったりすることができる。
- 前述の「JAPANTECH2016」の企画展示「akari image2016」では、もう一方のスペースでLEDの装飾照明、デザイナーが手がけた和紙や木材を用いた照明等、様々な照明器具を展示。
- 「インテリアテキスタイルヤングジャパン 2016」では、テキスタイルデザイン教育を行う教育機関において、2015年度に制作された卒業制作修了制作を対象とし、インテリアのためのテキスタイルデザインを展示。
- 「トイレ・バス・キッチン空間フェア 2016」では、中国のメーカーによるデザイン性のある陶器製の床ドレンとトラップが目をひいた。



「わざわざ座」の職人の手による椅子。



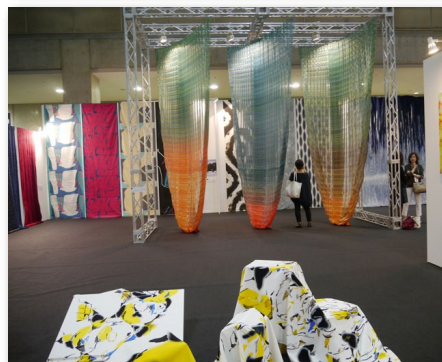
「素材の空間」では実際に製品を体感できる。



LEDを搭載し、光によって時刻を表すインテリア時計「EPORA」(リコー化成)。



注染の手ぬぐいをランプシェードに用いた灯り「語ら灯」。手ぬぐいは交換可能。



「インテリアテキスタイルヤングジャパン 2016」より。



中国の陶器メーカーの陶器床ドレン。

「CERASTA タイルの祭典」開催!

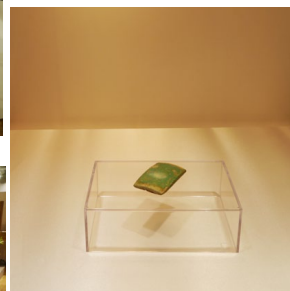
2016年10月24日(月)～29日(土)、東京・渋谷のhouzz(ハウス)にて、「CERASTA タイルの祭典」が開催された。主催は「タイルびとの会」。

会場では「世界最古を見逃すな!」をキャッチフレーズに、ピラミッドの地下空間に張られたタイルを常設展示。ほかに会員のタイルメーカーや商社による作品が展示された。モザイクタイルが全面に張られたソファなど造形物をメインとし、タイルスピーカーといった珍しい作品もあり、遊び心にあふれた空間となっていた。

期間中の6日間は連日、ワークショップやトークセミナー、レクチャーが開催された。



CERASTA のロゴマークをモザイクタイルで表現した作品。



ピラミッドに張られたタイル。



展示された作品の数々。タイルソファやベンチは座ってOK。写真上段は左から、タイルドラム、タイルスピーカー、タイルの振り子。いずれも実際に触って楽しむことができる。

タイルドラム・パフォーマンス

10月26日(水) 18:30～タイルドラムパフォーマンス「H ZETTILE」が開催された。

このタイルドラムは、「タイルびとの会」を主宰するタイル職人・白石^{あまね}普さんが制作。幾何学模様あまねにタイルが張られたドラムには、タイルシロフォンも設置されている。300×100ミリのタイルを一番低い音が出る音板とし、そこから比率を計算し、徐々に長さを短くするこ

とで音階を実現した。

パフォーマンスをするのはジャズトリオ・H ZETTRIOのドラマー・H ZETT KOU さん。

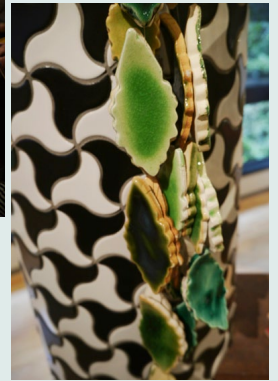
会場入り口ではタイル(95ミリ角)と割りばしが配られた。会場には鼻を銀色に塗っている人が多数。H ZETTRIOはライブの際にメンバーそれぞれが鼻を青、赤、銀に染めていて、KOUさんは銀色ということから。タイルと割りばしでさっそく音を出している人や、タイ



タイルドラムパフォーマンス。H ZETT KOU さん（写真左）と MONSTER 大陸千賀太郎さん（写真右）。



演奏を待つタイルドラム。



トークセッションの様子。



ルドラムを叩いてみる人もいて楽しいな雰囲気に包まれていた。

パフォーマンスの前に白石さんがタイルと音楽の関係について話した。

「タイルは図形の繰り返しによって、空間を彩る焼きもので、幾何学を利用したパターンの美しさが醍醐味です。その幾何学はピタゴラスが編み出しましたが、もうひとつピタゴラスが編み出したものに、音階があります。モザイクタイルの『モザイク』という言葉は、music を語源としています。いつかタイルで音階を表現したいと思い、ドラムをつくりました。せっかくなのでプロに叩いてもらうことにしました。今日はタイルの音色を楽しんでいただけたらと思います」

タイルシロフォンが音を響かせると会場から歓声が上がった。途中、MONSTER 大陸 千賀太郎さんがハーモニカの演奏で参加。タイルと割りばしで観客がリズムを刻むひとときもあり、タイルが奏でる音楽に会場はわいた。

パフォーマンス終了後も、展示をしばらく見られるようになっていて、作品に興味深く見つめる姿が見られた。

一見、異なるジャンルに思える音楽からタイルにつながるという印象深い企画となった。

トークセッション「土とものづくり」

29日（土）14：00～は、トークセッション「土とものづくり」。登壇者は、建築家・日置拓人さん×左官職人・久住有生さん×タイル職人・白石普さん。3人はINAX ライブミュージアム 10 周年特別展「つくるガウディ・塗る、張る、飾る！」（現在開催中～3月31日まで）で、公開制作を行なっている。

日置さんは、「左官とタイルの 20 年史」として、社会の動きを視野に入れ、主要な建築作品を取り上げ、2つの技法の動向や可能性について述べた。久住さんは、芝浦の小学校など自身の新たな試みによる作品を紹介しつつ、仕事における熱意を語った。

タイルの制作から壁面のデザインをも手がける白石さんは「タイル職人はどちらかというと張るだけで、自分から発信しにくい。久住さんのように発信する職人でありたい」と語った。

第54回技能五輪全国大会 2016 —— 熱戦のタイル張り競技で、長野県・柏原選手が優勝！



優勝（金賞）の柏原選手（長野県）



技能五輪全国大会「タイル張り」競技に出場した8人の選手



タイル張り競技のもよう

第54回技能五輪全国大会が、厚生労働省・中央職業能力開発協会・山形県の主催で2016年10月21日（金）～24日（月）までの4日間にわたって、山形県総合運動公園をはじめ山形市・天童市を中心とした県内各施設を会場にして行なわれた。この大会は「青年技能者がその技能レベルの日本一を競うことにより、青年技能者に努力目標を与えるとともに、優れた技能に身近にふれる機会を提供するなど、広く技能の重要性・必要性を国民一般にアピールし、技能が尊重される気運の醸成を図ること」を目的としている。今回の大会テーマは「輝け！ものづくり東北の未来」。東北ものづくりの復興・発展をめざし、6県知事の連名で誘致された。

競技は、22日（土）～23日（日）の2日間。23歳以下の若者1318名が41職種でその技量を競い合った。タイル張り職種は出場選手8名、山形県総合運動公園（天童市）を会場とし熱戦が繰り広げられた。優勝（金賞）・入賞は別記のとおり。24日には山形県総合運動公園アリーナにて閉会式が催され、成績発表と授賞式が執り行なわれた。

なお、隔年で開催される技能五輪国際大会は、2017年10月にアラブ首長国連邦・アブダビで開催されるが、優勝選手にはその出場資格が与えられる。

「タイル張り」職種の競技概要

■出場選手

塩井太士（富山県／㈱塩井工務店）

細井佑也（東京都／藤英工業㈱）

石田純哉（東京都／藤英工業㈱）

疋田剛也（東京都／共立タイル㈱）

鈴木峻太（新潟県／不二窯業㈱新潟営業所）

柏原拓実（長野県／炭平コーポレーション㈱）

西田浩希（岐阜県／㈱トミタ）

楨本 匠（栃木県／ハシモ㈱）

■競技時間

「タイル張り職種」の競技時間は、標準時間9時間30分（打切時間10時間30分）で、1日目8時30分～12時、13時～16時45分（15分休憩）、2日目8時30分～11時（標準時間）～12時（打切時間）という日日程で行なわれた。

■競技のポイント

課題は、壁および床を想定した下地にタイルを張り、目地つめを行なうもので、課題にはタイル張りに必要な要素をできるだけ取り入れており、様々な角度から若い選手の技術・技能とその作品を審査する（今年の課題は完成例を参照）。

■審査結果・入賞者

金 賞：柏原拓実（長野県／炭平コーポレーション㈱）

銀 賞：疋田剛也（東京都／共立タイル㈱）

銅 賞：楨本 匠（栃木県／ハシモ㈱）

敢闘賞：塩井太士（富山県／㈱塩井工務店）

（以上、敬称略）